

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	中学教科教育法Ⅳ（英語）				
担当者氏名	アレックス M. 林、山本 元子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の単位を取得したことを前提にし、模擬授業を通して、実践も加え、見直すべき点などを見つけ、改善し指導法の知識と技法を高める。

《テキスト》

実践的英語科教育法（村野井仁 著 成美堂）
中学の英語教科書（指定します）

《参考図書》

「新改訂版英語科教育実習生のためのミニマム・エッセンシャルズ」田中誠（著）（現代教育社）
「中学校学習指導要領」「中学校学習指導要領解説 外国語編」

《授業の到達目標》

これまで通して学んできた内容の総括として、実践も加え、さらに模擬授業を通して現場に求められる人材にふさわしい能力を養う。

《授業時間外学習》

・テキストの予習・復習
一わからない単語は意味や読みを調べておくこと
さらに進んだプレゼンテーションを実践練習するので、講義終了後、なんども準備、リハーサルをして講義に向かうこと。

《成績評価の方法》

レポート50%、試験50%により評価する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション、教師の役割の再確認	指導の在り方、評価方法も話し合う。
2	教材と教室の環境を確認（1）	LL教室と一般の教室の取り組み方の違いも確認
3	教材と教室の環境を確認（2）	テキスト、辞書、黒板、ホワイトボードについて
4	教科書の本文について（1）	中学校のテキスト分析、問題の取り組み（1）
5	教科書の本文について（2）	中学校のテキストの分析、問題の取り組み（2）
6	教科書の本文について（3）	中学校のテキスト分析、問題の取り組み（3）
7	学習者、生徒に対する信頼づくり（1）	名前、アイコンタクトなど教師の接し方
8	学習者、生徒に対する信頼づくり（2）	生徒の特性、教師への期待を考える
9	英語圏の文化背景を知る（1）	英国、米国、カナダ
10	英語圏の文化背景を知る（2）	ニュージーランド、オーストラリア
11	英語圏の発音	英語圏の発音の違いと学習者への指導、注意を話し合う
12	ALTとの取り組み	ALTとのティーム・ティーチングの行い方
13	評価の方法	妥当性、信頼性を考え、話し合う
14	プレゼンテーション	実践を踏まえ模擬授業を構築、動画にて撮り反省
15	まとめ	まとめ、プレゼンテーションの内容反省